

平成 28 年（2016 年）12 月 22 日

蘇南高校 12 月末全校集会 校長訓話原稿

皆さん「こんにちは！」

前回の終始業式では挨拶と各行事を主体的に自分で考えて前向きにとらえて行動してほしい旨と全ての基本である「聞くこと」と「質問力」について。加えて各定期考査でテスト勉強を「書いて書いて」覚えて 7 割の点数を取ってほしいという欲張りな要求をしました。

当然のことながら、皆さんは何も覚えていませんよね。

覚えていなくても皆さんは「私がお話しした以上」に実行してくれました。三留野大橋や桃介橋で通りすがりに「爽やかな挨拶をしてくれた高校生が素晴らしい！」と方々聞きますし、信州大学の藤森先生からは「挨拶が自然で素晴らしい！ 校舎内がきれいだ！」とお褒めの言葉をいただきました。

定期考査でも遅くまで学校に残ってテスト勉強する姿が例年になく多く見られたこと。信州大学藤森先生の講演会で 1 年生から質問が出たことなど本当に沢山要求したのにやろうとしてくれたことに嬉しく思います。

そして行事では強歩大会の出場者全員完歩、3 年生のレベルを見せつけた合唱コンクール、昨年度のよりもレベルの高い総合学習発表会等本当に 3 年生を中心に頑張りました。これは昨年やその前の先輩方が頑張ってくれたから、今年の 3 年生が一層頑張れたのだと思います。その手本を今年の 3 年生は見せてくれたように思います。

廊下や校長室等で 3 年生と話す機会があります。ある生徒の進路が決定したことについて男女数人が「〇〇決まって良かった！」「自分のこと以上に嬉しい！ すごく努力していたから！」「普段から〇〇は少しも偉ぶらないんだよね！ そればかりか自分に対して誉めてくれるんだよ！ ああいう人に成れば良いと思うけど無理だな云々」そんなお話を嬉しく聞いていた私は「そういう風に考えられるあなた方こそ素晴らしいと思うよ」と答えました。素晴らしい仲間関係だなあ流石蘇南高校の 3 年生だなと思い心が晴れやかになりました。

また、地域ボランティア等々の成果でのボランティアスピリットの表彰。美術部の作品展の入賞。

部活動では 2 つの部が新人戦の北信越大会出場を果たしてくれました。まずはサッカー部がフットサルで県リーグで 2 位ということで長野県選抜として北信越大会に、圧巻はバドミントン部の男女の団体、ダブルス、個人のすべてで準優勝という快挙を成し遂げてくれました。

さて、今日はあと 9 日で年の初めを迎えるに当たってどうしても話しておきたいことがあります。それはものの見方についての話です。

何度も何度も紹介している法隆寺宮大工で薬師寺再建をした西岡常一の『木のいのち木のころ』という本ですが皆さんはもう手にしたでしょうか？

その中で、「仕事の平等」についての話がありました。西岡棟梁は建築の材料のヒノキの癖を見て、このヒノキはどこに使うかを考えるそうです。風雪に耐えた強い癖のある木は建物の四隅の柱に使い、他の木はそれぞれの強さにあった部署に使い、その木の負担が同じにするそうです。弱い木を荷重のかかるところに使ったらヒノキが弾けてしまうそうです。それぞれの木がそれぞれの強さを持っていて同じ負荷である時が一番、全体が力を発揮して強いそうです。

我々人間もそうだと思います。それぞれが持つ力が皆違うわけで、一律に同じ負荷をかけてしまったら耐えられない人はそこでダウンしてしまいます。反対に力があるのに一律の負荷であった場合あまりに楽すぎて本来の力を出さずに終わってしまいます。

ですから「自分だけこんなにやらされて」とか「あいつは楽でいいな」とかよく不満を聞くことがあります。でも、良く考えてください。みんながそれぞれのところでそれぞれの力を発揮すれば大きな仕事を成し遂げることができるわけです。その辺が考えられるようになったとき君たちは大きく成長したことになります。ちょっとした心の持ち方で「楽しくもなり、苦しくもなる」のです。

ちょっと難しかったでしょうか。

ただこの西岡常一棟梁の「木のいのち木のころ」という本は、語りかける易しい言葉でつづられています、大変高度な哲学的内容が含まれています。棟梁の経験からくる珠玉の知恵の数々です。こんな風に自分の頭でものを考えるということをはじめたら、今行く先が見通せない日本の将来も明るいものになると信じるができる気がします。私はこの本を何度も何度も読んで新たな発見をいつもさせてもらっています。

さあ皆さん！ 「読書は最大のアクティブラーニング」です。年末年始休業で好きな本を読んで過ごしてください。そして「校長先生この本読んで感動した！読んでみて！」と紹介してください。

では、皆さんに私からの宿題を一つ、手紙や葉書を書くとありますね。葉書はなぜ葉書（葉に書く）と言うのでしょうか？ 調べておいてください。

新年はこの葉書についてのお話から始めます。

来年の 1 月 1 0 日(火)に皆さんの元気な姿を見ることができることを期待しています。

それでは 4 月から 1 2 月まで本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。「どうせやるなら 楽しく！」 「よきお年をお迎えください！」

以上